

日本チャンピオンを決める大会、それが全日本大会である。その舞台が6年ぶりに富士山麓にやってきた。4人の日本選手権者だけでなく、各年代の王者を決めるにふさわしい大会が用意される。

## ■ナビゲーションスポーツの醍醐味が味わえるトレイン

富士山麓は、日本では数少ないコンパスワークと地形の把握が重要となるトレインである。今回のエリアは、村山口登山道と勢子辻の間に位置し、富士でも比較的標高の高い場所位置する。これまで富士愛鷹(1991年全日本、雨降り山物語)、丸火自然公園(2005年全日本)、BIG イベントでも地図になってきたエリアである。しかし、大会会場から比較的遠かったことから、参加された方々も地図にも記載はあるものが入っていないエリアが多い。

今回、岩倉学園の協力を得て、トレイン中央部を会場とできたことで、より新鮮なエリアでナビゲーションスポーツ・オリエンテーリングの醍醐味が十分に楽しんでいただきたい。

## ■地図は国内最高水準

今回の地図は、運営主体となる関東7都県協会ではなく、地元静岡県協会が提供する。これまでも国内最高水準の地図を提供してきた静岡県協会であるが、さらに磨きがかかる。

今回、平面位置と絶対標高のいずれにおいても高い精度を持つレーザー測量データの提供を国土交通省富士砂防事務所・アジア航測株式会社から受け、調査原図として利用して、静岡県協会の精鋭ロボ・プロライトらに羽鳥和重・中村弘太郎らを加えた調査者が表現にも優れた地図が用意される。

私自身も調査の終了した一部しか見ていないが、古い地図と見比べては、このレグは楽しそうだ、いやこのレグの方がいいかと楽しんでいる。

参加者の皆様も是非期待してほしい。

## ■コース設定 前回王者篠原

静岡県で全日本が開催された前は、夏の愛知県での世界選手権を控え、ト

ップ選手が激しく競い合う中で開催された。この大会で日本人トップとなり優勝したのが、今回コース設定を行う篠原岳夫(渋谷で走る会所属)である。

トップ選手を退いた彼が、どんなコースを設定するのか楽しみである。日本チャンピオン経験者がコース設定するのは、2年前の神奈川県での鹿島田浩二(渋谷で走る会所属、現 JOA 強化委員長)以来となる。

BIG イベントでは初めてコースを組むことになる篠原であるが、地図完成を前にして、既に既存マップを使ってコースプランニングに余念のない状況である。

ロングのレースらしくダイナミックなルートチョイス、傾斜の異なる斜面でのコンパスワークを多用するナビゲーション技術をコースが用意される。日ごろのトレーニングの成果を存分に発揮し、挑戦してほしい。



また、選手権クラスは、当日会場からスタートまでの間に実際に使用する地図の一部を利用したトレーニングエリアを設定する。

## ■学生割引導入

今回、学生割引を大幅に導入した。これまでの高校生以下に加え、大学生相当まで概ね3割引である。

全日本大会、学生の参加者はそれほど多くない。理由は何か自問した。「学生にとってはインカレに比べて魅力が薄いのではないか」「インカレの翌週では精神面でも、金銭面でもきついのではないか」。

私自身、学生時代に和歌山で行われた全日本大会には、クラブの仲間と1週間かけてドライブ旅行をしたり、山口の全日本の時は大会後1週間山陰地方を旅行したことが思い出され、3年生の時は、エリート権が獲得できずに21Aに出場した山口全日本で優勝し、自信を得て、その後の競技者生活の扉を開

くきっかけとなった。

そんな思いから、是非一人でも多くの学生に参加してほしいと選手権クラスを含め参加費に学生割引を導入した。

## ■運営は関東7都県協会

今回、全日本にふさわしいトレインとして静岡県に協力を得て、関東ブロックの7都県協会の合同で運営する。同形式による全日本大会の運営は、5年前栃木県での開催に続くものである。

前回の経験、今年の経験を生かしつつ、寄せ集め集団にありがちなコミュニケーション不足から来るミスが起こすことのないように運営をすべく体制を整え、きめ細やかな情報共有を行い、参加者の皆様を迎えるべく準備を進めている。

[前回全日本 M21E コースの一部]

## ■納得できるまでトレーニング

トレイン西側に隣接する「村山口登山道」が静岡県協会の厚意で、サマーチャレンジ2010として開設されています。是非、事前に一度といわず何度でもトレーニングに行き、優勝、入賞といった自分の目標達成に向け精進してください。詳細は静岡県協会 HP 参照

## ■O-Forum2011

前日19日(土)には、恒例となっているオリエンテーリングフォーラム2011が実施される。今回のテーマは「多様な普及チャンネルを考える」である。是非ご参加ください。

13時30分 16時40分

富士市「大淵まちづくりセンター」

★詳細情報は、大会公式サイトにて  
<http://joc2010.jimbo.com/>

(全日本大会競技責任者 齋藤宏顕)